

請負工事に係る審査項目別採点基準表(土木関係)

(主任監督員)

審査項目	細 別	a	b	c	d	e
2 施工状況	Ⅱ 工程管理	☐ 優れている	☐ やや優れている	☐ 他の評価に該当しない	☐ やや劣っている	☐ 劣っている
		● 評価対象項目 ☐ 隣接する他の工事などとの工程調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 ☐ 地元及び関係機関との調整に取り組み、遅れを発生させることなく工事を完成させた。 ☐ 工程管理を適切に行なったことにより、休日や夜間工事の回避等を行い、地域住民に公共工事に対する好印象を与えた。 ☐ 工程管理に係る積極的な取り組みが見られた。 ☐ 災害復旧工事など特に工期的な制約がある場合において、余裕をもって工事を完成させた。 ☐ 工事施工箇所が広範囲に点在している場合において、工程管理を的確に行い、余裕をもって工事を完成させた。 ☐ その他() ● 判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。				
	Ⅲ 安全対策	☐ 優れている	☐ やや優れている	☐ 他の評価に該当しない	☐ やや劣っている	☐ 劣っている
		● 評価対象項目 ☐ 建設労働災害及び公衆災害の防止に向けた取り組みが顕著であった。 ☐ 安全衛生を確保するための管理体制を整備し、組織的に取り組んだ。 ☐ 安全衛生を確保するため、他の模範となるような活動に積極的に取り組んだ。 ☐ 安全対策に関する技術開発や創意工夫に取り組んだ。 ☐ 安全協議会での活動に積極的に取り組んだ。 ☐ 安全対策に係る取り組みが地域から評価された。 ☐ その他() ● 判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、d、e評価を行う。				

様式第5号②

請負工事に係る考査項目別採点基準表(土木関係)

(主任監督員)

考査項目	細 別	特性項目	特性細項目	a	b	c	判定対象基準(該当工事の具体的な判定内容)
4 工事特性	Ⅰ 施工条件への対応	1 構造・規模特性	①規模	☐	☐	☐	既設構造物の補強、撤去等の特殊な工事
			②形状	☐	☐	☐	対象構造物の形状の複雑さ
			③その他	☐	☐	☐	対象構造物の高さ、延長、施工断面積、施工深度等の規模の大きさ
		2 技術管理特製	①工法等	☐	☐	☐	施工方法等に関する技術提案等
			②その他	☐	☐	☐	工法、使用機器、使用材料等の特殊さ
		3 自然・作業環境	①湧水・地下水等	☐	☐	☐	地滑り等の地質条件、急流河川の水量、海域での潮流等
			②軟弱地盤等	☐	☐	☐	支持地盤の強化等の範囲、深度等による施工性への影響
			③作業用道路・ヤード等	☐	☐	☐	河川堤外、海域、、山岳地、急峻地形等での工事用道路、作業ヤードの制約等
			④気象・海象等	☐	☐	☐	雨・雪・風・気温・波浪等による施工性への影響等
			⑤その他	☐	☐	☐	湧水、地下水等による掘削等の施工性への影響等
		4 社会・作業特性	①地中障害物等	☐	☐	☐	幹線地下埋設物等の作業障害物の施工性への影響等
			②近接工事等	☐	☐	☐	営業鉄道線路、供用幹線道路、重要架空線及び建築物等の近接による施工性への影響等
			③騒音・振動規制等	☐	☐	☐	騒音・振動規制や周辺住民への配慮による施工性への影響等
			④水質汚濁等	☐	☐	☐	周辺水域環境等への水質汚濁の配慮による施工性への影響等
			⑤作業用道路・ヤード等	☐	☐	☐	生活道路を使用することによる資材搬入等の制約、また、路面覆工下・高架下等の作業スペースの制約の影響等
			⑥現道作業等	☐	☐	☐	交通規制等の厳しい現道上での作業
			⑦その他	☐	☐	☐	希少動植物等、文化財等の重要な環境保全対策等の必要性、また、質・量の稀大な廃棄物処理等
		5 施工管理特性	①他工区調整等	☐	☐	☐	複数の近接工区との工程調整
			②住民対応等	☐	☐	☐	近隣住民対応
			③関係機関対応等	☐	☐	☐	関係行政機関、公益事業者等との調整・協議
			④工程管理等	☐	☐	☐	工期・工程・工法等への機敏な変更対応
			⑤品質管理等	☐	☐	☐	複雑・煩雑な品質管理及び精度
			⑥安全管理等	☐	☐	☐	高所作業・夜間作業・潜水作業等の危険作業管理
⑦その他	☐		☐	☐	大規模災害時の迅速な応急復旧対応		
※1. 工事特性は、最大20点の加点点評価とする。 ※2. 評価にあたっては、監督員等の意見も参考に評価する。			※難易度判定基準	a	特に困難・高度な技術を要する施工条件・状況かつ、過去5年間に発注事例が2~3件程度の工事特性での優れた施工を実施		
				b	困難・高度な技術を要する施工条件・状況かつ、過去5年間に発注事例が10件程度の工事特性で良好な施工を実施		
				c	一般的で、通常の技術で対応可能な施工条件・状況かつ、請負者の責による工期延期もなく良好な施工を実施		
			※成績評定基準	a	①a判定が2以上 ②a判定が1以上+b判定が4以上 ③a判定1かつb判定が3以下の場合でも、工事特性を勘案し評価して良い		
				b	①b判定が3以上で、a判定が〇 ②a判定が1以上かつb判定が3以下		
				c	上記判定基準に満たない場合。		
考査項目	細 別	a		b		c	
6 社会特性	Ⅱ 地域への貢献等	☐ 優れている		☐ やや優れている		☐ 他の評価に該当しない	
		● 評価対象項目 ☐ 周辺環境への配慮に積極的に取り組んだ。 ☐ 現場事務所や作業現場の環境を周辺地域との景観に合わせるなど、積極的に周辺地域との調和を図った。 ☐ 定期的に広報紙の配布や現場見学会等を実施して、積極的に地域とのコミュニケーションを図った。 ☐ 道路清掃などを積極的に実施し、地域に貢献した。 ☐ 地域が主催するイベントへ積極的に参加し、地域とのコミュニケーションを図った。 ☐ 災害時などにおいて、地域への支援又は行政などによる救援活動への積極的な協力を行った。 ☐ その他() ● 判断基準 上記該当項目を総合的に判断して、a、b、c、評価を行う。					

考査項目	法令遵守等の該当項目一覧表	
8 法令遵守等		
措置内容 点数 ☐ 1 入札参加停止3か月以上 -20点 ☐ 2 入札参加停止2か月以上3か月未満 -15点 ☐ 3 入札参加停止1か月以上2か月未満 -13点 ☐ 4 文書厳重注意 -8点 ☐ 5 文書注意 -5点 ☐ 6 口頭注意 -3点 ☐ 7 総合評価落札方式において、請負者の責により、評価された技術提案事項が履行されなかった場合等 - 点		

☐ 項目該当なし